

会 議 記 録 (概 要)

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松市総合都市交通計画推進協議会 平成 25 年度第 3 回交通機能部会 および交通結節部会 合同部会
開催日時	平成 26 年 2 月 12 日 (水) 10 時 00 分～11 時 30 分
開催場所	高松市役所 3 階 32 会議室
議題	・ことடன்新駅の設置について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	【交通機能部会】 古川部会長，本多副部会長，川上委員，前谷委員，野口委員，米井委員， 毛利委員，高橋委員，斎藤委員，森本委員，岡田委員，津川委員 (欠席委員 1 名：土井委員) 【交通結節部会】 川上部会長，高木副部会長，西牧委員 (代理：長戸)，野口委員， 米井委員，高橋委員，小原委員，森本委員，岡田委員，梶ヶ谷委員 (欠席委員 1 名：土井委員)
傍聴者	1 人 (傍聴席：8 席を確保)
担当課および連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果

次のとおり，部会を開催した。

(部会長)

本日は，いずれの部会も部会員のうち過半数以上の方が出席しているので，高松市総合都市交通計画推進協議会条例第 7 条第 4 項において準用する第 6 条第 2 項の規定により，会議は成立する。

1 議事の協議について

(1) 次の議事について協議し，下記の結果となった。

ことடன்新駅の設置について ……事務局より説明

以後審議

(部会長)

意見，質問などがあれば，お願いしたい。

(委員)

新駅1について、国道にバスベイを設置する計画図となっているが、停車車両が若干ではあるものの車道側にはみ出ること、上屋、ベンチの設置も想定されることから、歩道幅員の減少を伴うバスベイの確保だけでなく、抜本的なバス停留対策も視野に検討いただきたい。

(事務局)

今後、バス事業者を含め関係者と協議、調整を図り、将来の結節施設としての在り方を踏まえ、詳細について検討してまいりたい。

(委員)

増便、快速便の検討に当たっては、琴平線、長尾線の便のうち、いくつかは瓦町駅止まりとすることも視野に、その実現性について検討いただきたい。

(事務局)

志度線を瓦町駅止まりとした際に利用客が離れた過去の実績もあることから、琴平線、長尾線の瓦町駅止まり便の検討は慎重に進めたい。

(部会長)

5分間隔は難しいが、参考までに、現在の長尾線が12分間隔であり、鉄道ダイヤを60進法で捉えると、高松築港から瓦町駅間の過密ダイヤ内において、琴平線は6分間隔まで運行頻度を増加させることは可能である。

(委員)

琴平線の増加時間解消のため、高松市域外の行き違い区間の整備によるダイヤ増加時間の短縮は見込めるのか。

(事務局)

仏生山以南は単線、非交換駅が続くことから、電車の行き違いのための調整時間が多くなっているが、当該駅の交換駅化や、一部複線化により、時間短縮が見込めるものと捉えている。

(部会長)

田園地区も多く、高松市域内に比べ事業費は少額となるが、利用者数とも合わせて、費用対効果について検討が必要である。

(委員)

公共交通中心のまちという観点からは、新駅整備やそれに伴う複線化は必要と感じる。利用者の利便性の観点からは、できれば新駅配置案②'を中心に検討を進めていただきたい。

(事務局)

新駅の整備、複線化には多額の事業費を要することから、その確保には定量的な根拠が求められる。そうした根拠も含め、まちづくりに資するものとして、しっかりとその必要性を位置付けてまいりたい。

(部会長)

現状の国庫補助制度の活用は、事業費から見て厳しいことを認識いただきたい。綾川駅の整備同様に、県の財政的協力は必要である。

(委員)

県としてはできるかぎり協力したい。

(オブザーバー)

全国で限られた予算の中で、補助金をうまく活用できればと考えている。本来コミュニティレール化として求められる輸送改善だけでなく、まちづくりの観点から、全国からの他の要望と比較し、その必要性を説明できるかどうか重要である。場合によっては、自治体の負担を相当に求めなければならない。

(部会長)

補助制度は厳しいことを踏まえ、今後検討いただきたい。綾川駅については、歩いて暮らせるまちづくりをコンセプトに掲げ、駅整備と併せて町道を整備し、通常は通勤・通学が主であり、平日の利用が多い中、平日に対し土日の利用が3割増加するなど、その効果が当初から現れている。今回検討している新駅についても、交通と道路が一体化したものであり、その効果は期待されるものである。

(委員)

現在、駅周辺に住んでる人が便利になるだけでなく、人が移り住んでくるまちづくりを目指していただきたい。住宅だけでなく、スーパーなどの生活ができる施設も必要であり、そうしたまちづくりを目的とした「都市再生計画事業」も有効に活用いただきたい。

(委員)

多額の事業費を要することから、市域全体にとって有益なものとなるものかどうかをしっかりと検討いただきたい。新駅以外の施策についても、合わせて検討いただきたい。

(事務局)

他の施策との連携はまちづくりの誘導の観点で必要と認識しており、そうした中、新駅の整備については、地元住民の要望を始め、その必要性について検討しているものである。今後は、この部会や市議会においても、その必要性を審議いただき、整備の必要性をしっかりと検証してまいりたい。

(副部会長)

新駅とともに重要な交通結節拠点と位置付けられている仏生山駅周辺については、現在、新病院の整備を核としたエリア整備に向け協議、調整されておられるようだが、駅前広場の整備内容も含め、現在の進捗状況はどうか。

(事務局)

仏生山の新病院を核としたまちづくりについては北側エリア、駅前広場、道路について計画中であるが、現在、新病院の進入路の用地取得にかかる地権者との交渉に時間を要している。こうした調整が整えば、交通広場の整備計画を含め、具体の計画について、協議が進められるものと認識している。

審議終了

2 その他

(1) 電車バス乗り継ぎ割引拡大開始に伴う商店街における関連イベントについて

・・・丸亀町商店街振興組合より説明

(2) 新県立中央病院への路線バス運行について

・・・ことடன்バス(株)より説明

(3) 次回合同部会について

(事務局)

次回合同部会の開催については、5月中下旬を目途に日程調整して連絡させていただく。

閉会

以上